

# 第III章 家族・人とのつながり

ここでは、自分自身の家族や人とのつながりについて、捉えている。

## 1. 未既婚

F7	あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。
1	未婚
2	既婚（配偶者あり）
3	既婚（離別・死別）

本人の未既婚の別については、「既婚（配偶者あり）」が70.6%を占めている。次いで、「既婚（離別・死別）」が24.3%、「未婚」が4.2%となっている。〈図表III-1〉

〈図表III-1〉 未既婚



性別にみると、「既婚（配偶者あり）」と「未婚」は、女性より男性で高くなっている。一方、「既婚（離別・死別）」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「既婚（配偶者あり）」は高年齢層ほど低くなっている。一方、「既婚（離別・死別）」は高年齢層ほど高くなっている。〈図表III-2〉

〈図表III-2〉 未既婚 [性・年齢別]

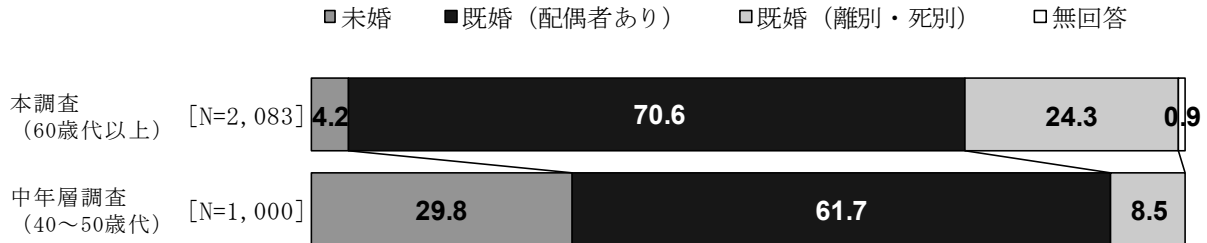
（単位：％）

		N	未婚	既婚 （配偶者あり）	既婚 （離別・死別）	無回答
全 体		2,083	4.2	70.6	24.3	0.9
性別	男 性	964	5.5	80.1	▲13.8	0.6
	女 性	1,119	▲3.1	▲62.5	33.3	1.1
本人年齢別	60～64歳	353	6.5	82.7	▲9.6	1.1
	65～69歳	406	5.7	77.3	▲16.7	0.2
	70～74歳	497	4.2	74.6	▲20.3	0.8
	75～79歳	407	3.4	67.1	28.7	0.7
	80～84歳	242	2.1	▲59.9	37.2	0.8
	85～89歳	132	1.5	▲44.7	53.0	0.8
	90歳以上	46	-	▲37.0	56.5	6.5

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「既婚（配偶者あり）」「既婚（離別・死別）」のいずれも、60歳代以上が中年層を上回っている（それぞれ、8.9ポイント差、15.8ポイント差）。一方、「未婚」は中年層が29.8%と60歳代以上を25.6ポイント上回っている。（図表Ⅲ-3）

〈図表Ⅲ-3〉 未既婚 「[中年層調査]との比較：参考」

（単位：％）



（単位：％）

		N	未婚	既婚 （配偶者あり）	既婚 （離別・死別）
本調査	全体	2,083	4.2	70.6	24.3
	60～64歳	353	6.5	82.7	9.6
	65～69歳	406	5.7	77.3	16.7
	70～74歳	497	4.2	74.6	20.3
	75～79歳	407	3.4	67.1	28.7
	80～84歳	242	2.1	59.9	37.2
	85～89歳	132	1.5	44.7	53.0
	90歳以上	46	-	37.0	56.5
中年層調査	全体	1,000	29.8	61.7	8.5
	40～44歳	287	36.9	58.2	4.9
	45～49歳	267	30.0	62.9	7.1
	50～54歳	228	30.3	59.2	10.5
	55～59歳	218	19.7	67.4	12.8

## 2. 家族とのつながり

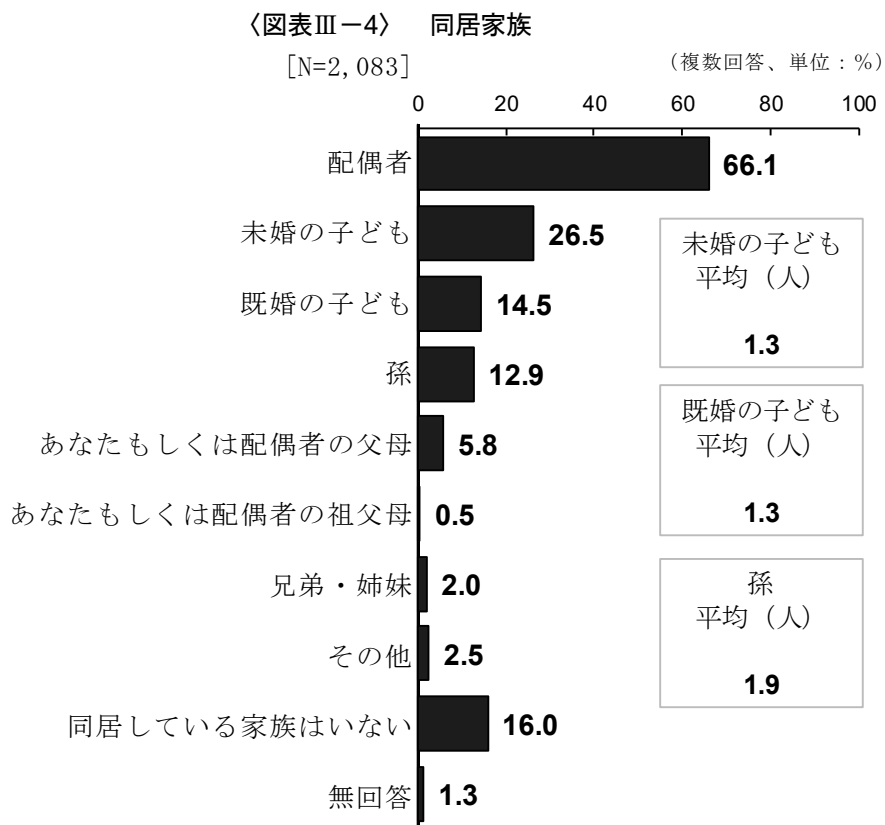
### (1) 家族形態

F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。  
 なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

1 配偶者	7 兄弟・姉妹
2 未婚の子ども ( <input type="text"/> 名)	8 その他
3 既婚の子ども ( <input type="text"/> 名)	9 同居している家族はいない
4 孫 ( <input type="text"/> 名)	
5 あなたもしくは配偶者の父母	
6 あなたもしくは配偶者の祖父母	

同居している家族については、「配偶者」が66.1%と最も多く、次いで、「未婚の子ども」が26.5%、「既婚の子ども」が14.5%、「孫」が12.9%となっている。また、「同居している家族はいない」は16.0%となっている。

ちなみに、「未婚の子ども」「既婚の子ども」の平均はいずれも1.3人、「孫」の平均は1.9人となっている。(図表Ⅲ-4)



性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」は、女性より男性の方が上回っている。「既婚の子ども」と「同居している家族はいない」は、女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」は60歳代の層で7割台と高くなっており、高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。一方、「既婚の子ども」「孫」は高年齢層ほど高くなっている。

「あなたもしくは配偶者の父母」は60歳代の層で高くなっている。

「同居している家族はいない」は80歳代で高く、60歳代の層では低くなっている。〈図表Ⅲ-5〉

〈図表Ⅲ-5〉 同居家族〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

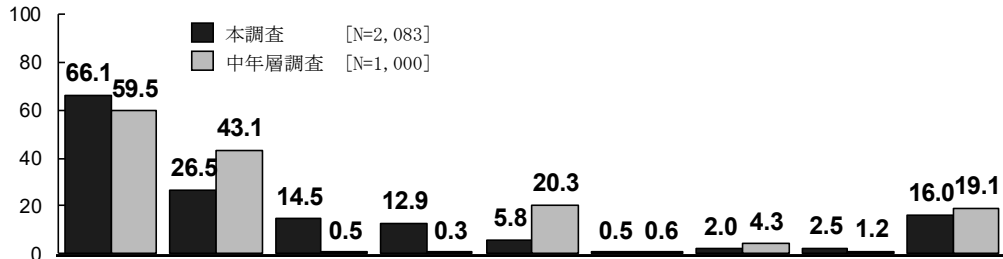
		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母	兄弟・姉妹
全 体		2,083	66.1	26.5	14.5	12.9	5.8	0.5	2.0
性別	男 性	964	74.4	27.1	▲11.8	11.5	7.1	0.7	2.3
	女 性	1,119	▲58.9	26.0	16.9	14.1	▲4.7	0.4	1.8
本人年齢別	60～64歳	353	79.0	39.1	▲5.9	▲5.4	17.3	1.1	1.4
	65～69歳	406	73.6	29.6	▲9.4	▲9.9	10.3	1.7	2.7
	70～74歳	497	68.4	23.5	13.1	11.7	▲2.2	-	1.6
	75～79歳	407	62.7	24.6	17.9	17.0	▲1.5	-	1.5
	80～84歳	242	▲55.0	▲19.4	21.5	18.2	-	-	3.3
	85～89歳	132	▲40.9	▲17.4	25.8	21.2	▲0.8	-	3.0
	90歳以上	46	▲34.8	15.2	43.5	23.9	-	-	-
		N	その他	同居家族はしていない	無回答	未婚の子ども(人)	既婚の子ども(人)	平均(孫)	
全 体		2,083	2.5	16.0	1.3	1.3	1.3	1.9	
性別	男 性	964	▲1.7	▲13.5	1.0	1.3	1.4	1.9	
	女 性	1,119	3.3	18.1	1.5	1.2	1.3	2.0	
本人年齢別	60～64歳	353	1.7	▲7.9	2.0	1.4	1.3	2.1	
	65～69歳	406	3.0	▲12.3	0.5	1.3	1.3	1.9	
	70～74歳	497	▲1.2	18.3	1.2	1.2	1.3	2.0	
	75～79歳	407	1.2	17.4	1.0	1.2	1.3	2.0	
	80～84歳	242	6.6	21.9	1.2	1.2	1.4	2.0	
	85～89歳	132	5.3	24.2	0.8	1.2	1.3	1.7	
	90歳以上	46	2.2	17.4	8.7	1.0	1.3	1.4	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「既婚の子ども」「孫」で、それぞれ 14.0 ポイント差、12.6 ポイント差となっている。

一方、中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っているのは「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」で、それぞれ 16.6 ポイント差、14.5 ポイント差となっている。〈図表Ⅲ-6〉

〈図表Ⅲ-6〉 同居家族 「中年層調査」との比較：参考

(複数回答、単位：%)



	N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母	兄弟・姉妹	その他	同居家族はしていない	
本調査	全 体	2,083	66.1	26.5	14.5	12.9	5.8	0.5	2.0	2.5	16.0
	60～64歳	353	79.0	39.1	5.9	5.4	17.3	1.1	1.4	1.7	7.9
	65～69歳	406	73.6	29.6	9.4	9.9	10.3	1.7	2.7	3.0	12.3
	70～74歳	497	68.4	23.5	13.1	11.7	2.2	-	1.6	1.2	18.3
	75～79歳	407	62.7	24.6	17.9	17.0	1.5	-	1.5	1.2	17.4
	80～84歳	242	55.0	19.4	21.5	18.2	-	-	3.3	6.6	21.9
	85～89歳	132	40.9	17.4	25.8	21.2	0.8	-	3.0	5.3	24.2
	90歳以上	46	34.8	15.2	43.5	23.9	-	-	-	2.2	17.4
中年層調査	全 体	1,000	59.5	43.1	0.5	0.3	20.3	0.6	4.3	1.2	19.1
	40～44歳	287	57.1	45.3	0.3	-	24.7	1.0	5.2	1.4	19.2
	45～49歳	267	59.9	46.8	0.7	-	21.7	0.4	3.7	0.7	16.5
	50～54歳	228	56.1	41.2	-	-	17.1	0.9	4.4	0.4	24.1
	55～59歳	218	65.6	37.6	0.9	1.4	16.1	-	3.7	2.3	17.0

前述の同居している家族の選択肢から、以下のように「家族形態」を設定した。

F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。  
 なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

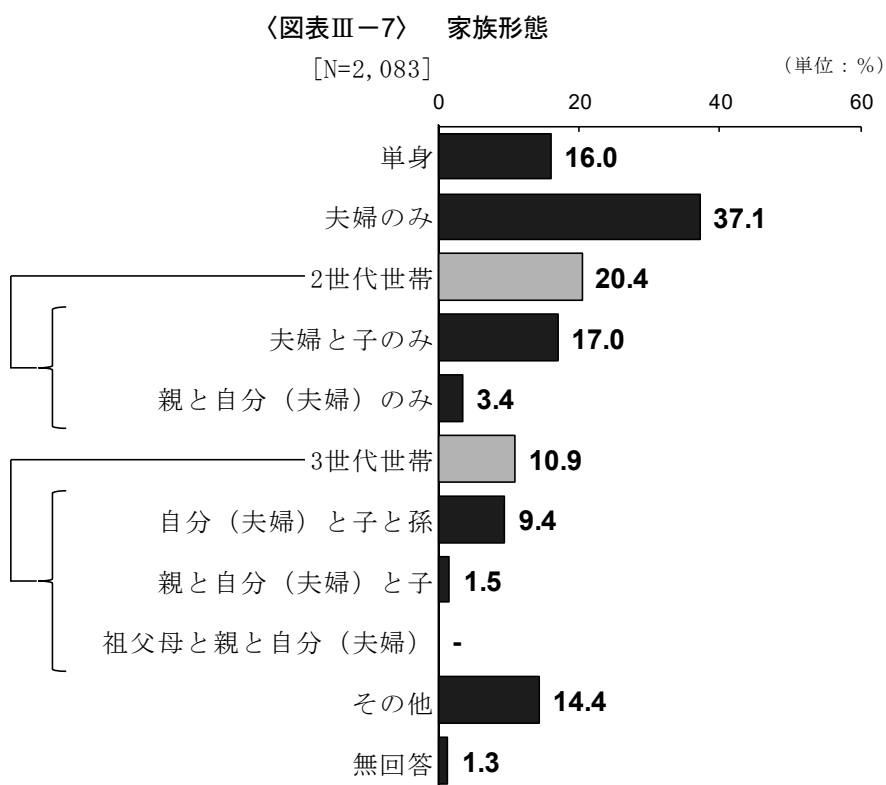
1 配偶者	7 兄弟・姉妹
2 未婚の子ども ( <input type="text"/> 名)	8 その他
3 既婚の子ども ( <input type="text"/> 名)	9 同居している家族はいない
4 孫 ( <input type="text"/> 名)	
5 あなたもしくは配偶者の父母	
6 あなたもしくは配偶者の祖父母	

【家族形態】

- 1 単身…F13が「同居している家族はいない」
- 2 夫婦のみ…F13が「配偶者」のみ
- 3 2世代世帯…家族形態の4～5
- 4 夫婦と子のみ…F13が「配偶者」と「子ども」のみ
- 5 親と自分(夫婦)のみ…F13が「あなたもしくは配偶者の父母」(と「配偶者」)のみ
- 6 3世代世帯…家族形態の7～9
- 7 自分(夫婦)と子と孫…F13が「子ども」と「孫」
- 8 親と自分(夫婦)と子…F13が「子ども」と「あなたもしくは配偶者の父母」
- 9 祖父母と親と自分(夫婦)  
…F13が「あなたもしくは配偶者の父母」と「あなたもしくは配偶者の祖父母」
- 10 その他…上記に当てはまらない回答

その結果、「夫婦のみ」が37.1%と最も多く、次いで、「夫婦と子のみ」が17.0%、「単身」が16.0%との順となっている。

なお、「2世代世帯」(“夫婦と子のみ”と“親と自分(夫婦)のみ”の回答の合計)は20.4%、「3世代世帯」(“自分(夫婦)と子と孫”、“親と自分(夫婦)と子”と“祖父母と親と自分(夫婦)”の回答の合計)は10.9%となっている。(図表Ⅲ-7)



性別にみると、「夫婦のみ」「夫婦と子のみ」「親と自分（夫婦）のみ」は、女性より男性の方が上回っている。一方、「単身」は女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「単身」と「自分（夫婦）と子と孫」は、概ね高年齢層ほど高くなっている。

「夫婦のみ」は70～74歳で高く、以降、高年齢層ほど低くなっている。

「夫婦と子のみ」は、高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅲ－8〉

〈図表Ⅲ－8〉 家族形態〔性・年齢別〕

(単位：%)

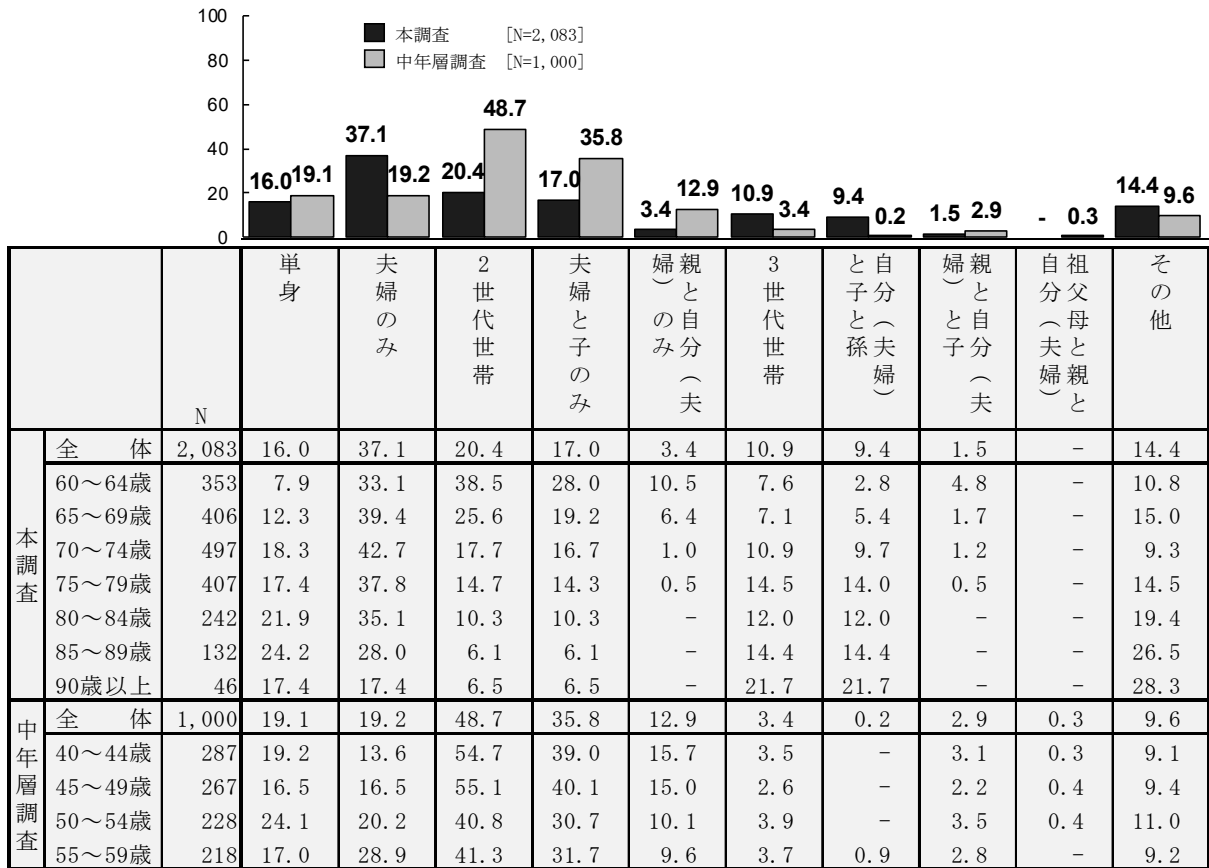
		N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子のみ	親と自分（夫婦のみ）		
全 体		2,083	16.0	37.1	20.4	17.0	3.4		
性別	男 性	964	▲13.5	40.4	24.0	19.6	4.4		
	女 性	1,119	18.1	▲34.3	▲17.2	▲14.7	▲2.5		
本人年齢別	60～64歳	353	▲7.9	33.1	38.5	28.0	10.5		
	65～69歳	406	▲12.3	39.4	25.6	19.2	6.4		
	70～74歳	497	18.3	42.7	17.7	16.7	▲1.0		
	75～79歳	407	17.4	37.8	▲14.7	14.3	▲0.5		
	80～84歳	242	21.9	35.1	▲10.3	▲10.3	-		
	85～89歳	132	24.2	▲28.0	▲6.1	▲6.1	-		
	90歳以上	46	17.4	▲17.4	▲6.5	6.5	-		
		N	3世代世帯	と自分と孫（夫婦）	親と自分（夫婦）	自祖父（父母と親と）	その他	無回答	
全 体		2,083	10.9	9.4	1.5	-	14.4	1.3	
性別	男 性	964	9.9	8.2	1.7	-	▲11.3	1.0	
	女 性	1,119	11.8	10.4	1.4	-	17.0	1.5	
本人年齢別	60～64歳	353	▲7.6	▲2.8	4.8	-	▲10.8	2.0	
	65～69歳	406	▲7.1	▲5.4	1.7	-	15.0	0.5	
	70～74歳	497	10.9	9.7	1.2	-	▲9.3	1.2	
	75～79歳	407	14.5	14.0	0.5	-	14.5	1.0	
	80～84歳	242	12.0	12.0	-	-	19.4	1.2	
	85～89歳	132	14.4	14.4	-	-	26.5	0.8	
	90歳以上	46	21.7	21.7	-	-	28.3	8.7	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上の方が中年層を上回っているのは、「夫婦のみ」（17.9ポイント差）、「自分（夫婦）と子と孫」（9.2ポイント差）となっている。

一方、中年層の方が60歳代以上を大きく上回っているのは、「2世代世帯」（28.3ポイント差）で、そのうち「夫婦と子のみ」が18.8ポイント差、「親と自分（夫婦）のみ」が9.5ポイント差となっている。（図表Ⅲ-9）

〈図表Ⅲ-9〉 家族形態 「[中年層調査]との比較：参考」

（単位：％）





## (2) 家族および付き合いのある親族

### ① 家族および付き合いのある親族

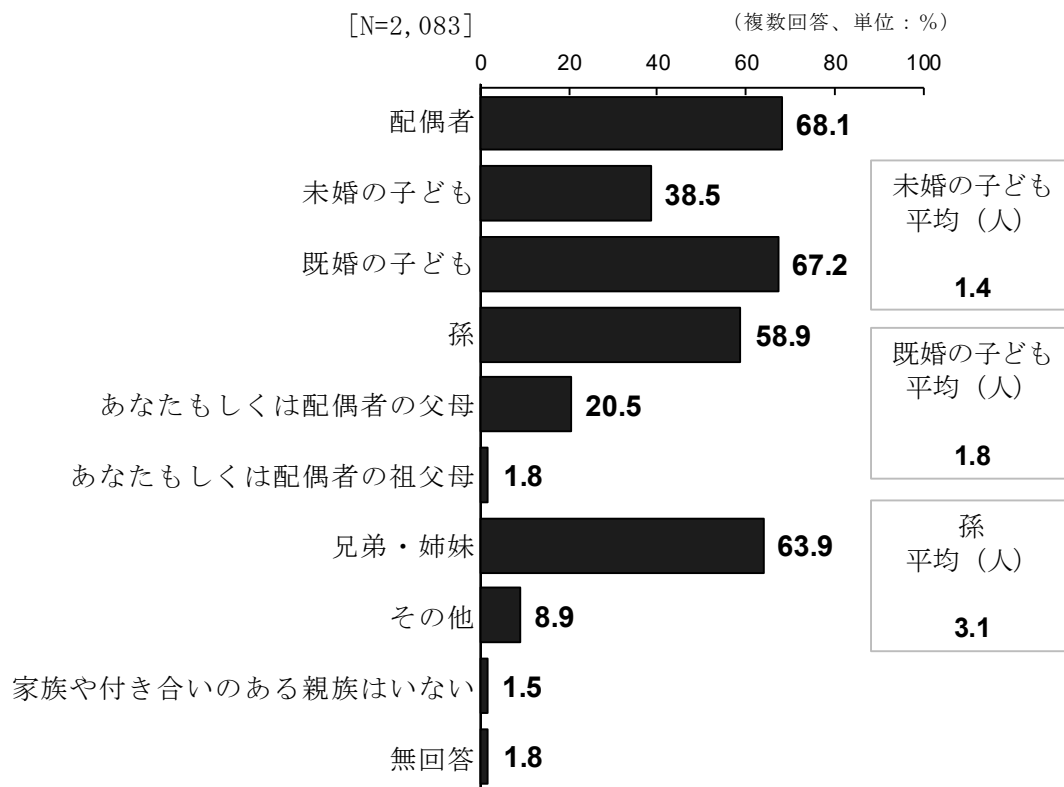
F14 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。  
 ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含みます。  
 なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

1 配偶者	7 兄弟・姉妹
2 未婚の子ども ( <input type="text"/> 名)	8 その他
3 既婚の子ども ( <input type="text"/> 名)	9 家族や付き合いのある親族はいない
4 孫 ( <input type="text"/> 名)	
5 あなたもしくは配偶者の父母	
6 あなたもしくは配偶者の祖父母	

家族および付き合いのある親族については、「配偶者」(68.1%)、「既婚の子ども」(67.2%)、「兄弟・姉妹」(63.9%)が6割台で高くなっており、次いで「孫」が58.9%となっている。

「家族や付き合いのある親族はいない」は1.5%にとどまっている。(図表Ⅲ-10)

〈図表Ⅲ-10〉 家族および付き合いのある親族



性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」「あなたもしくは配偶者の祖父母」は、女性より男性の方が上回っている。「既婚の子ども」「孫」は、女性の方が男性より高くなっている。ちなみに、「家族や付き合いのある親族はいない」は女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

一方、「既婚の子ども」「孫」は、60～64歳で低くなっている。〈図表Ⅲ－11〉

〈図表Ⅲ－11〉 家族および付き合いのある親族〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

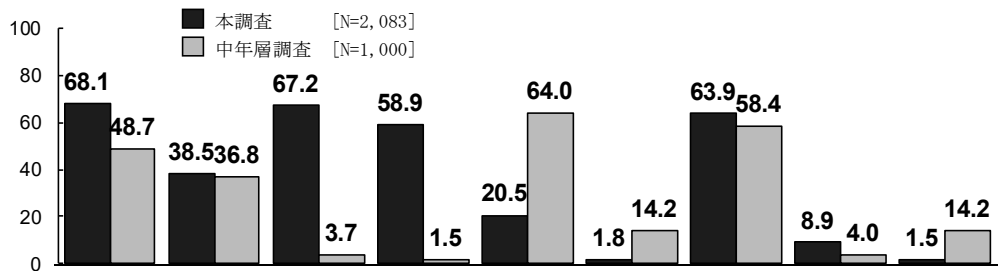
		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母の祖	兄弟・姉妹
全 体		2,083	68.1	38.5	67.2	58.9	20.5	1.8	63.9
性別	男 性	964	77.1	38.1	▲64.9	▲56.0	23.5	2.7	62.6
	女 性	1,119	▲60.3	38.8	69.1	61.4	▲18.0	▲1.1	65.0
本人年齢別	60～64歳	353	81.9	57.5	▲51.6	▲41.9	55.2	4.2	73.4
	65～69歳	406	75.1	44.3	65.0	55.9	35.2	4.9	71.9
	70～74歳	497	71.4	▲33.6	72.2	65.2	▲13.1	▲0.6	64.2
	75～79歳	407	▲63.4	34.6	70.5	62.9	▲4.9	-	61.7
	80～84歳	242	▲57.4	▲27.7	71.5	64.9	▲0.8	-	▲53.3
	85～89歳	132	▲41.7	▲25.8	74.2	61.4	▲2.3	-	▲47.7
	90歳以上	46	▲37.0	▲19.6	78.3	73.9	-	-	▲37.0
		N	その他	はい家族や付き合いのある親族	無回答	未婚の子ども(人)	既婚の子ども(人)	平均(孫)	
全 体		2,083	8.9	1.5	1.8	1.4	1.8	3.1	
性別	男 性	964	▲6.6	2.4	1.3	1.4	1.8	3.1	
	女 性	1,119	10.8	▲0.8	2.2	1.3	1.8	3.1	
本人年齢別	60～64歳	353	12.7	2.3	0.8	1.5	1.7	2.7	
	65～69歳	406	6.9	2.0	1.2	1.3	1.8	3.1	
	70～74歳	497	8.0	1.4	1.4	1.3	1.9	3.3	
	75～79歳	407	6.9	1.2	2.2	1.3	1.9	3.2	
	80～84歳	242	9.9	0.8	2.9	1.4	1.7	3.0	
	85～89歳	132	12.1	1.5	2.3	1.2	1.7	3.2	
	90歳以上	46	8.7	-	8.7	1.0	2.0	3.5	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは、「既婚の子ども」（63.5ポイント差）、「孫」（57.4ポイント差）、「配偶者」（19.4ポイント差）となっている。

一方、中年層の方が60歳代以上を大きく上回っているのは、「あなたもしくは配偶者の父母」（43.5ポイント差）、「あなたもしくは配偶者の祖父母」（12.4ポイント差）で、「家族や付き合いのある親族はいない」も中年層の方が12.7ポイント上回っている。〈図表Ⅲ-12〉

〈図表Ⅲ-12〉 家族および付き合いのある親族 「中年層調査」との比較：参考

（複数回答、単位：％）



	N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母	兄弟・姉妹	その他	はい家族や いる付き親族合	
		全体	2,083	68.1	38.5	67.2	58.9	20.5	1.8	63.9	8.9
本調査	60～64歳	353	81.9	57.5	51.6	41.9	55.2	4.2	73.4	12.7	2.3
	65～69歳	406	75.1	44.3	65.0	55.9	35.2	4.9	71.9	6.9	2.0
	70～74歳	497	71.4	33.6	72.2	65.2	13.1	0.6	64.2	8.0	1.4
	75～79歳	407	63.4	34.6	70.5	62.9	4.9	-	61.7	6.9	1.2
	80～84歳	242	57.4	27.7	71.5	64.9	0.8	-	53.3	9.9	0.8
	85～89歳	132	41.7	25.8	74.2	61.4	2.3	-	47.7	12.1	1.5
	90歳以上	46	37.0	19.6	78.3	73.9	-	-	37.0	8.7	-
中年層調査	全体	1,000	48.7	36.8	3.7	1.5	64.0	14.2	58.4	4.0	14.2
	40～44歳	287	42.5	31.4	-	-	69.3	26.5	59.2	4.5	14.6
	45～49歳	267	48.3	36.7	0.7	-	68.5	14.2	57.3	1.9	18.0
	50～54歳	228	48.7	38.6	3.1	1.3	60.5	6.6	55.3	1.8	13.6
	55～59歳	218	57.3	42.2	12.8	5.5	55.0	6.0	61.9	8.3	9.6

## ②同居家族以外の家族および付き合いのある親族

前述の同居している家族と、家族および付き合いのある親族の回答結果から、以下のように「同居家族以外の家族および付き合いのある親族」を設定した。

F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。  
なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

F14 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。  
ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含まれます。  
なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

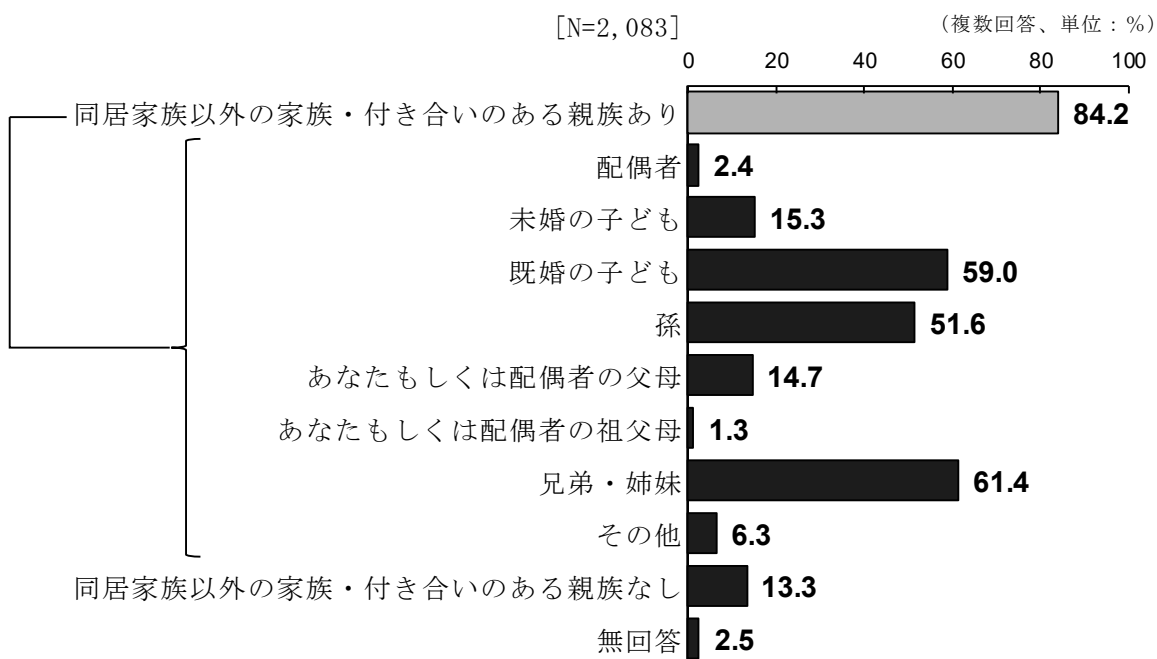
【同居家族以外の家族および付き合いのある親族】  
※F13 で該当せず(同居していない)、F14 で該当の回答結果から、以下を作成

1 配偶者	7 兄弟・姉妹
2 未婚の子ども	8 その他
3 既婚の子ども	9 同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり
4 孫	10 同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし
5 あなたもしくは配偶者の父母	
6 あなたもしくは配偶者の祖父母	

その結果、同居していない家族や親族としては、「兄弟・姉妹」が 61.4%と最も多く、次いで「既婚の子ども」が 59.0%、「孫」が 51.6%となっている。「親族あり」は合わせて 84.2%を占めている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は 13.3%となっている。(図表Ⅲ-13)

〈図表Ⅲ-13〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族



性別にみると、「孫」は男性より女性の方が高く、「あなたもしくは配偶者の父母」「あなたもしくは配偶者の祖父母」は男性の方が女性より高くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、概ね高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

「既婚の子ども」「孫」は70～74歳で高く、60～64歳で低くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は80～84歳で高く、60～64歳で低くなっている。(図表Ⅲ-14)

〔図表Ⅲ-14〕 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	同居家族以外の親族あり	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父母は	あなたもしくは配偶者の祖父母は	兄弟・姉妹	その他
全 体		2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3
性別	男 性	964	82.8	3.0	14.3	58.0	▲49.1	(16.4)	(2.0)	60.0	▲5.0
	女 性	1,119	85.3	1.8	16.2	59.8	(53.8)	▲13.2	▲0.7	62.7	(7.5)
本人年齢別	60～64歳	353	(88.7)	2.5	(24.9)	▲49.0	▲39.4	(38.0)	(3.1)	(72.0)	(11.0)
	65～69歳	406	85.0	2.0	(18.5)	59.6	50.5	(24.9)	(3.2)	(68.7)	▲3.9
	70～74歳	497	86.3	3.2	13.3	(65.6)	(58.8)	▲10.7	0.6	61.8	6.8
	75～79歳	407	83.5	1.5	12.8	60.4	53.8	▲3.4	-	60.0	5.7
	80～84歳	242	▲76.0	2.9	▲9.1	57.0	52.5	▲0.8	-	▲50.0	▲3.3
	85～89歳	132	81.8	1.5	10.6	58.3	49.2	▲1.5	-	▲43.9	6.8
	90歳以上	46	73.9	2.2	▲4.3	56.5	60.9	-	-	▲37.0	6.5
		N	同居家族以外の親族なし	無回答							
全 体		2,083	13.3	2.5							
性別	男 性	964	(15.5)	▲1.8							
	女 性	1,119	▲11.4	(3.2)							
本人年齢別	60～64歳	353	▲9.3	2.0							
	65～69歳	406	13.3	1.7							
	70～74歳	497	11.3	2.4							
	75～79歳	407	14.0	2.5							
	80～84歳	242	(21.1)	2.9							
	85～89歳	132	15.2	3.0							
	90歳以上	46	13.0	(13.0)							

未既婚別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。なお、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、既婚（離別・死別）層で低くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は未婚層で 33.0%と高くなっている。（図表Ⅲ－15）

〈図表Ⅲ－15〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	同居家族以外の 家族・付き合い のある親族ありの 割合	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは 配偶者の父母は	あなたもしくは 配偶者の祖父母は	兄弟・姉妹	その他
全 体		2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3
未既婚別	未 婚	88	▲63.6	-	-	▲1.1	▲1.1	▲6.8	-	60.2	12.5
	既婚（配偶者あり）	1,471	86.7	3.3	17.9	63.6	54.9	18.6	1.6	64.4	6.1
	既婚（離別・死別）	506	81.8	-	▲10.7	56.7	51.8	▲5.1	0.6	▲54.5	6.3
		N	同居家族以外の 家族・家親族 なしの割合	無回答							
全 体		2,083	13.3	2.5							
未既婚別	未 婚	88	33.0	3.4							
	既婚（配偶者あり）	1,471	▲11.8	▲1.5							
	既婚（離別・死別）	506	14.0	4.2							

家族形態別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は単身、夫婦のみ、親と自分（夫婦）のみ）の各層で、それぞれ高くなっている。また、「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は夫婦と子のみの層で、高くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は自分（夫婦）と子と孫の層で、高くなっている。（図表Ⅲ-16）

〈図表Ⅲ-16〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	同居家族あり・家族付き合いありの割合	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父母は	あなたもしくは祖父母は	兄弟・姉妹	その他
全 体		2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3
家族形態別	単 身	333	88.6	4.2	12.0	58.6	51.4	▲5.7	0.6	61.0	8.4
	夫 婦 の み	773	90.8	-	22.5	74.3	64.6	20.6	1.6	66.2	▲4.7
	2 世 代 世 帯	424	88.2	▲0.5	15.8	▲54.5	▲45.3	20.5	1.7	70.0	9.0
	夫 婦 と 子 の み	354	87.3	-	14.1	▲54.0	▲45.5	24.6	1.7	68.4	7.9
	親と自分（夫婦）のみ	70	92.9	2.9	24.3	57.1	44.3	-	1.4	78.6	14.3
	3 世 代 世 帯	227	▲74.4	1.3	▲6.6	▲43.2	▲43.6	▲8.8	0.4	57.7	7.5
	自分（夫婦）と子と孫	195	▲72.3	1.0	▲5.1	▲41.0	▲44.1	10.3	-	▲54.9	6.2
	親と自分（夫婦）と子	32	87.5	3.1	15.6	56.3	40.6	-	3.1	75.0	15.6
そ の 他	299	▲71.2	10.0	▲7.7	▲43.5	▲38.1	▲7.0	1.7	▲45.8	4.3	
		N	同居家族あり・家族付き合いなしの割合	無回答							
全 体		2,083	13.3	2.5							
家族形態別	単 身	333	▲8.7	2.7							
	夫 婦 の み	773	▲8.5	▲0.6							
	2 世 代 世 帯	424	11.3	▲0.5							
	夫 婦 と 子 の み	354	12.1	▲0.6							
	親と自分（夫婦）のみ	70	7.1	-							
	3 世 代 世 帯	227	22.5	3.1							
	自分（夫婦）と子と孫	195	24.1	3.6							
	親と自分（夫婦）と子	32	12.5	-							
そ の 他	299	27.8	1.0								

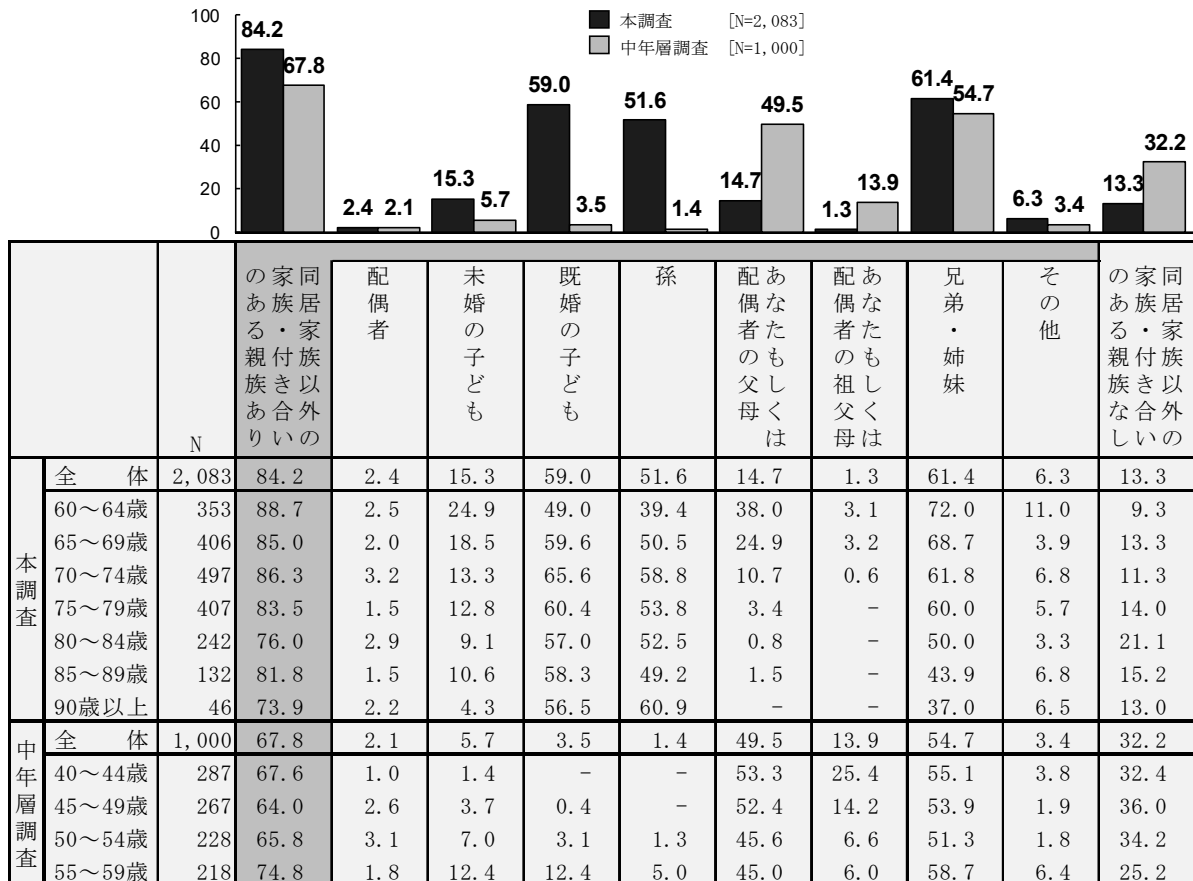
調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは、「既婚の子ども」（55.5ポイント差）、「孫」（50.2ポイント差）となっている。

一方、中年層の方が60歳代以上を大きく上回っているのは、「あなたもしくは配偶者の父母」（34.8ポイント差）、「あなたもしくは配偶者の祖父母」（12.6ポイント差）となっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は、中年層で32.2%と60歳代以上の13.3%を18.9ポイント上回っている。（図表Ⅲ-17）

〈図表Ⅲ-17〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族 [「中年層調査」との比較：参考]

（複数回答、単位：％）





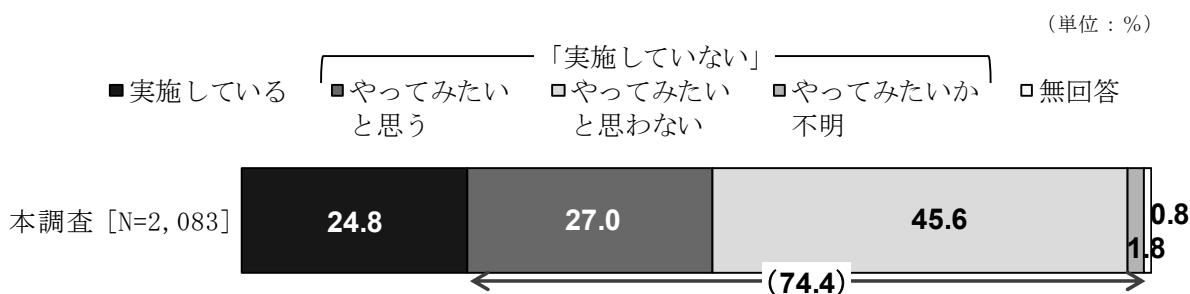
### (3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向

社会貢献活動の実施の有無、および実施意向について尋ね、その結果を以下のようにまとめた。

Q4	あなたは過去1年間にボランティアのような社会貢献活動をしましたか。	
1	はい	2 いいえ
SQ	(Q4で「いいえ」と答えた方へ) できることがあれば今後ボランティアのような社会貢献活動をやりたいと思いますか。	
1	やってみたいと思う	2 やってみたいと思わない

社会貢献活動を「実施している」は24.8%で、「実施していない」は74.4%となっている。実施していない人のうちでは、「やってみたいと思わない」が45.6%で、「やってみたいと思う」の27.0%を上回っている。〈図表Ⅲ-18〉

〈図表Ⅲ-18〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「実施している」は70～74歳で高く、85歳以上で低くなっている。  
「やってみたいと思う」は高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-19)

〈図表Ⅲ-19〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	実施している	実施していない	やうつてみたいと	やわつなてみたいと	や明つてみたいか	無回答
全 体		2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
性別	男 性	964	26.3	72.9	25.3	45.9	1.8	0.7
	女 性	1,119	23.5	75.6	28.4	45.4	1.8	0.9
本人年齢別	60～64歳	353	21.5	78.2	38.2	▲38.5	1.4	0.3
	65～69歳	406	26.4	72.7	36.2	▲35.2	1.2	1.0
	70～74歳	497	28.4	▲70.8	27.0	42.9	1.0	0.8
	75～79歳	407	27.8	72.0	▲20.6	48.6	2.7	0.2
	80～84歳	242	22.3	76.9	▲16.5	59.1	1.2	0.8
	85～89歳	132	▲17.4	79.5	▲12.1	63.6	3.8	3.0
	90歳以上	46	▲6.5	91.3	▲13.0	71.7	6.5	2.2

本人の現在の職業別にみると、「実施している」は公務員で高くなっている。

「やってみたいと思う」は民間企業被用者、およびパート・アルバイトで高く、無職で低くなっている。(図表Ⅲ-20)

〈図表Ⅲ-20〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向 [本人職業(現在)別]

(単位：%)

		N	実施している	実施していない	やうつてみたいと	やわつなてみたいと	や明つてみたいか	無回答
全 体		2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
本人職業(現在)別	自 営 者	180	27.2	72.2	31.1	40.0	1.1	0.6
	農 林 漁 業	19	36.8	63.2	26.3	31.6	5.3	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	25.8	73.4	32.3	41.1	-	0.8
	自 由 業 者	37	27.0	73.0	29.7	40.5	2.7	-
	常 雇 被 用 者	222	27.0	72.1	38.3	▲32.9	0.9	0.9
	公 務 員	37	43.2	▲56.8	37.8	▲18.9	-	-
	民 間 企 業 被 用 者	185	23.8	75.1	38.4	▲35.7	1.1	1.1
	非 正 規 社 員	178	21.3	78.1	43.3	▲34.3	0.6	0.6
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	39	23.1	76.9	38.5	38.5	-	-
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	139	20.9	78.4	44.6	▲33.1	0.7	0.7
無 職	1,037	26.0	73.3	▲24.4	47.4	1.4	0.7	
そ の 他	24	25.0	70.8	37.5	29.2	4.2	4.2	

未既婚別にみると、「実施している」および「やってみたいと思う」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。

「やってみたいと思わない」は既婚（離別・死別）層で高くなっている。〈図表Ⅲ－21〉

〈図表Ⅲ－21〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔未既婚別〕

(単位：%)

		N	実施している	実施していない	思や うっ て み た い と	思や わっ な い み た い と	不 や っ て み た い か	無 回 答
全 体		2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
未 既 婚 別	未 婚	88	▲12.5	86.4	34.1	48.9	3.4	1.1
	既婚（配偶者あり）	1,471	26.8	▲72.7	29.0	▲42.2	1.4	▲0.5
	既婚（離別・死別）	506	▲20.9	77.7	▲20.2	54.9	2.6	1.4

家族形態別にみると、「実施している」は単身層で低くなっている。「やってみたいと思う」は、2世代世帯、親と自分（夫婦）と子の各層で、それぞれ高くなっている。〈図表Ⅲ－22〉

〈図表Ⅲ－22〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔家族形態別〕

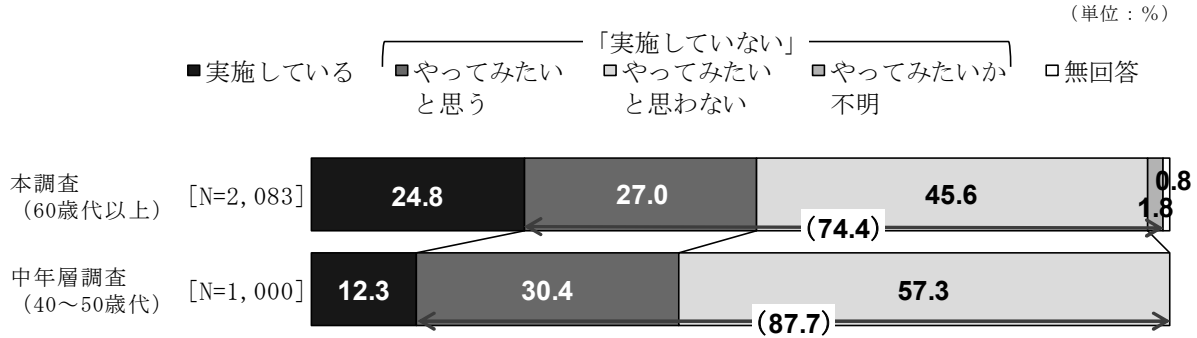
(単位：%)

		N	実施している	実施していない	思や うっ て み た い と	思や わっ な い み た い と	不 や っ て み た い か	無 回 答
全 体		2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
家 族 形 態 別	単 身	333	▲20.4	77.8	24.3	49.5	3.9	1.8
	夫 婦 の み	773	26.9	72.6	26.6	44.4	1.6	0.5
	2 世 代 世 帯	424	25.7	74.1	34.2	▲38.7	1.2	0.2
	夫 婦 と 子 の み	354	26.6	73.2	32.2	▲40.1	0.8	0.3
	親と自分（夫婦）のみ	70	21.4	78.6	44.3	▲31.4	2.9	-
	3 世 代 世 帯	227	29.1	70.0	22.9	45.8	1.3	0.9
	自分（夫婦）と子と孫	195	29.7	69.2	▲19.5	48.2	1.5	1.0
	親と自分（夫婦）と子	32	25.0	75.0	43.8	31.3	-	-
そ の 他	299	▲19.7	79.3	24.4	53.5	1.3	1.0	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「実施している」は中年層の12.3%に比べて、60歳代以上は24.8%と12.5ポイント上回っている。

「やってみたいと思う」は中年層が30.4%、60歳代以上が27.0%で、3.4ポイント差と極端に大きな差はみられない。(図表Ⅲ-23)

〈図表Ⅲ-23〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向 [「中年層調査」との比較：参考]



(単位：%)

	N	実施している	実施していない	実施していない			
				やってみたいと思う	やってみたいと思わない	やってみたいか不明	
本調査	全体	2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8
	60～64歳	353	21.5	78.2	38.2	38.5	1.4
	65～69歳	406	26.4	72.7	36.2	35.2	1.2
	70～74歳	497	28.4	70.8	27.0	42.9	1.0
	75～79歳	407	27.8	72.0	20.6	48.6	2.7
	80～84歳	242	22.3	76.9	16.5	59.1	1.2
	85～89歳	132	17.4	79.5	12.1	63.6	3.8
	90歳以上	46	6.5	91.3	13.0	71.7	6.5
中年層調査	全体	1,000	12.3	87.7	30.4	57.3	-
	40～44歳	287	9.4	90.6	37.6	53.0	-
	45～49歳	267	10.5	89.5	25.5	64.0	-
	50～54歳	228	11.8	88.2	28.9	59.2	-
	55～59歳	218	18.8	81.2	28.4	52.8	-

#### (4) 相続・財産管理

##### ① 相続準備の有無

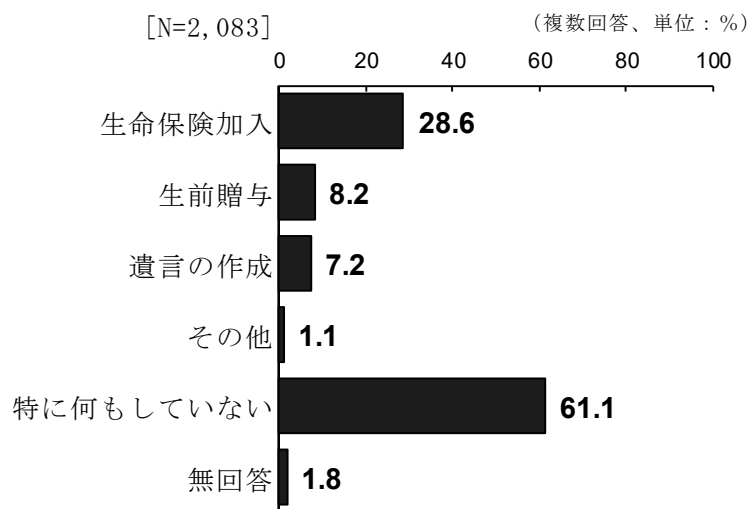
Q35 あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。

この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 遺言の作成
- 2 生前贈与
- 3 生命保険加入
- 4 その他
- 5 特に何もしていない

相続準備については、「特に何もしていない」が 61.1%を占めている。具体的な相続準備としては、「生命保険加入」が 28.6%と最も多く、「生前贈与」が 8.2%、「遺言の作成」が 7.2%の順となっている。(図表Ⅲ-24)

〈図表Ⅲ-24〉 相続準備の有無



性別にみると、特に差がみられない。

年齢別にみると、「生命保険加入」は65～69歳で高くなっており、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

「生前贈与」は60～64歳で低く、85～89歳で高くなっている。

「遺言の作成」は60～64歳で低く、80歳代の層で1割超と高くなっている。〈図表Ⅲ－25〉

〈図表Ⅲ－25〉 相続準備の有無〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	し特 てに い何 ない も い	無 回 答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
性 別	男 性	964	27.0	8.8	8.0	1.2	61.6	1.6
	女 性	1,119	29.9	7.6	6.6	0.9	60.7	2.0
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	29.7	▲4.2	▲3.1	0.6	64.0	1.4
	65～69歳	406	33.5	6.4	6.4	1.0	59.4	1.0
	70～74歳	497	30.6	10.3	5.6	1.4	60.6	▲0.4
	75～79歳	407	25.6	8.8	9.3	1.2	62.2	2.2
	80～84歳	242	26.0	8.3	10.3	0.8	61.2	2.5
	85～89歳	132	21.2	13.6	14.4	1.5	57.6	4.5
	90歳以上	46	▲15.2	8.7	8.7	-	60.9	10.9

未婚別にみると、「遺言の作成」は未婚層で高くなっている。他は、特に差がみられない。〈図表Ⅲ－26〉

〈図表Ⅲ－26〉 相続準備の有無〔未婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	し特 てに い何 ない も い	無 回 答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
未 既 婚 別	未 婚	88	20.5	4.5	13.6	2.3	67.0	-
	既婚 (配偶者あり)	1,471	28.6	7.7	6.9	1.0	61.8	1.5
	既婚 (離別・死別)	506	30.0	9.9	7.1	1.0	58.7	2.2

家族形態別にみると、「遺言の作成」は単身層で高くなっている。他は、特に差がみられない。〈図表Ⅲ-27〉

〈図表Ⅲ-27〉 相続準備の有無 [家族形態別]

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その 他	し特 てに い何 ない ない	無 回 答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
家族 形態 別	単 身	333	25.8	9.3	11.1	1.8	60.4	1.5
	夫 婦 の み	773	27.7	8.3	8.4	1.3	62.2	1.2
	2 世 代 世 帯	424	32.3	6.1	5.2	0.9	59.7	0.9
	夫 婦 と 子 の み	354	32.5	6.5	5.6	0.8	58.8	1.1
	親と自分(夫婦)のみ	70	31.4	4.3	2.9	1.4	64.3	-
	3 世 代 世 帯	227	30.4	9.3	8.4	0.4	60.4	1.8
	自分(夫婦)と子と孫	195	29.7	9.2	8.2	0.5	59.5	2.1
	親と自分(夫婦)と子	32	34.4	9.4	9.4	-	65.6	-
そ の 他	299	28.1	9.0	▲2.3	0.3	61.5	3.7	

本人年収別にみると、「生命保険加入」は概ね(1,000~2,000万円未満層までの)高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。

「生前贈与」は500~1,000万円未満層から上の高収入層で高くなっている。

「遺言の作成」は2,000万円以上層で30.8%と特に高くなっている。

「特に何もしていない」は、収入はない層で70.5%と高くなっている。〈図表Ⅲ-28〉

〈図表Ⅲ-28〉 相続準備の有無 [本人年収別]

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その 他	し特 てに い何 ない ない	無 回 答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	▲21.9	6.5	▲2.1	0.7	70.5	2.1
	100 万 円 未 満	435	27.1	▲4.8	6.0	1.1	65.1	1.1
	100 ~ 500 万 円 未 満	1,072	30.6	8.9	8.8	1.2	▲58.5	1.5
	500 ~ 1,000 万 円 未 満	135	37.8	15.6	9.6	0.7	▲48.9	2.2
	1,000 ~ 2,000 万 円 未 満	25	48.0	20.0	4.0	4.0	▲40.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	15.4	23.1	30.8	-	46.2	-

世帯保有金融資産別にみると、「生命保険加入」「生前贈与」は概ね高資産層ほど高くなっている。「遺言の作成」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。

「特に何もしていない」は、100万円未満層で72.6%と高くなっている。〈図表Ⅲ-29〉

〈図表Ⅲ-29〉 相続準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保 険 加 入	生 前 贈 与	遺 言 の 作 成	そ の 他	し 特 て に 何 も い ない	無 回 答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	▲18.8	▲4.3	▲2.6	1.7	72.6	1.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	32.1	7.0	5.7	1.1	60.7	▲0.8
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	31.9	6.2	8.1	-	59.3	0.7
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	36.8	11.9	9.9	1.7	▲51.3	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	37.8	23.5	15.1	3.4	▲44.5	1.7
	1 億 円 以 上	23	56.5	26.1	13.0	-	▲21.7	-

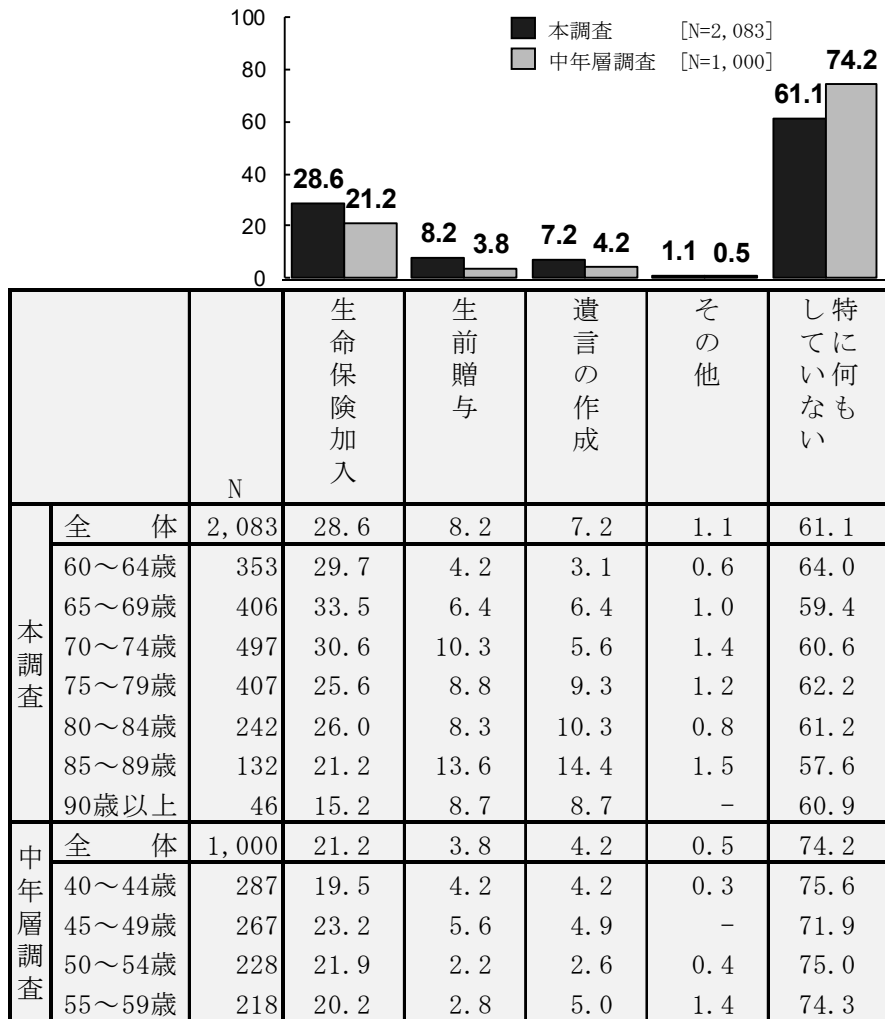


調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、具体的な相続準備の「生命保険加入」「生前贈与」「遺言の作成」は、いずれも60歳代以上の方が中年層を上回っている。一方、「特に何もしていない」は中年層の方が60歳代以上を大きく上回っている(13.1ポイント差)。

〈図表Ⅲ-30〉

〈図表Ⅲ-30〉 相続準備の有無 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



## ②判断能力低下時への準備の有無

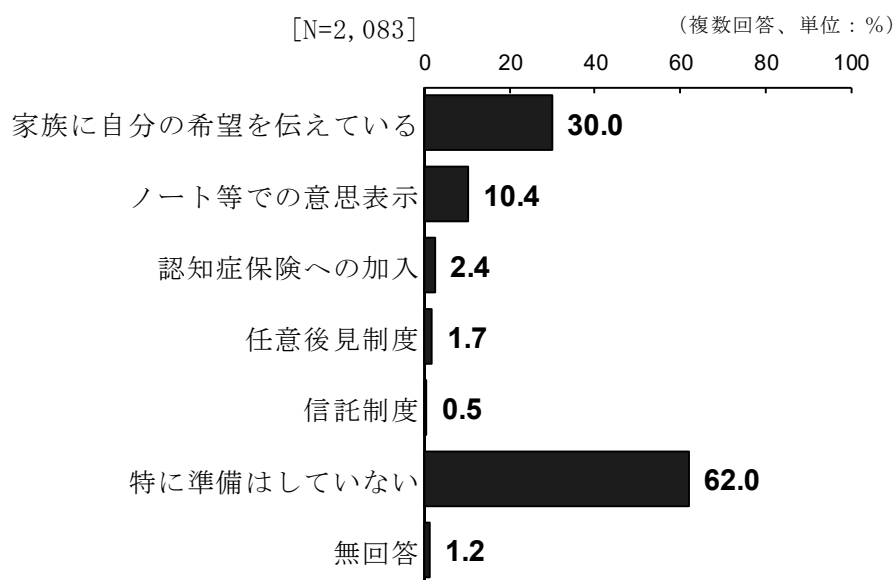
Q36 将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。

この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 ノート等での意思表示
- 2 信託制度
- 3 任意後見制度
- 4 家族に自分の希望を伝えている
- 5 認知症保険への加入
- 6 特に準備はしていない

判断能力低下時への準備については、「特に準備はしていない」が 62.0%を占めている。具体的な準備としては、「家族に自分の希望を伝えている」が 30.0%と最も多く、次いで「ノート等での意思表示」が 10.4%、「認知症保険への加入」が 2.4%となっている。〈図表Ⅲ－31〉

〈図表Ⅲ－31〉 判断能力低下時への準備の有無



性別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」「任意後見制度」は、女性の方が男性を上回っている。「特に準備はしていない」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は80～84歳で高く、60歳代の層で低くなっている。「ノート等での意思表示」は60～64歳で低くなっている。

「特に準備はしていない」は60歳代の層で高くなっており、75～79歳、80～84歳の各層で低くなっている。(図表Ⅲ-32)

〈図表Ⅲ-32〉 判断能力低下時への準備の有無 [性・年齢別]

(複数回答、単位：%)

		N	望家を族に 伝えて分の 希望	意ノ 思ー 表ト 示等 での	加認 入知 症保 険へ の	任 意 後 見 制 度	信 託 制 度	し特 てに い準 備な 備は	無 回 答
全 体		2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
性 別	男 性	964	▲26.1	9.2	1.9	▲1.0	0.3	67.1	1.1
	女 性	1,119	33.3	11.4	2.9	2.3	0.6	▲57.6	1.2
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	▲22.1	▲5.7	2.8	1.1	0.3	72.5	0.6
	65～69歳	406	▲24.4	8.6	3.9	2.0	0.5	67.0	1.0
	70～74歳	497	31.6	12.3	2.2	2.6	0.2	60.2	▲0.2
	75～79歳	407	33.4	13.0	1.5	1.7	0.5	▲57.5	1.7
	80～84歳	242	38.4	12.4	2.9	1.2	0.8	▲53.3	1.2
	85～89歳	132	37.1	12.1	-	0.8	0.8	56.8	3.0
	90歳以上	46	28.3	4.3	-	-	2.2	58.7	6.5

未既婚別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は既婚（離別・死別）層で高く、既婚（配偶者あり）層、未婚層で低くなっている。

「任意後見制度」「信託制度」は未婚層で高くなっている。

「特に準備はしていない」は未婚層、既婚（配偶者あり）層で高くなっている。(図表Ⅲ-33)

〈図表Ⅲ-33〉 判断能力低下時への準備の有無 [未既婚別]

(複数回答、単位：%)

		N	望家を族に 伝えて分の 希望	意ノ 思ー 表ト 示等 での	加認 入知 症保 険へ の	任 意 後 見 制 度	信 託 制 度	し特 てに い準 備な 備は	無 回 答
全 体		2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
未 既 婚 別	未 婚	88	▲18.2	8.0	2.3	5.7	2.3	73.9	1.1
	既婚（配偶者あり）	1,471	▲28.7	10.0	2.5	1.4	0.4	63.6	▲0.7
	既婚（離別・死別）	506	36.4	12.5	2.0	2.0	0.4	▲55.5	1.8

家族形態別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は自分（夫婦）と子と孫の層で高く、夫婦と子のみで低くなっている。

「ノート等での意思表示」は単身層、夫婦のみ層で高く、夫婦と子のみ層で低くなっている。

「任意後見制度」は親と自分（夫婦）と子で高くなっている。

「特に準備はしていない」は夫婦と子のみ層で高くなっている。〈図表Ⅲ－34〉

〈図表Ⅲ－34〉 判断能力低下時への準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	望家を族に伝えて分いの希	意ノ思ト等での	加認入知症保への	任意後見制度	信託制度	し特に準備は	無回答
全 体		2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
家族形態別	単 身	333	33.6	14.1	1.8	2.7	0.9	57.4	1.2
	夫 婦 の み	773	31.3	12.8	2.8	▲0.9	0.4	60.3	▲0.5
	2 世 代 世 帯	424	▲22.6	▲7.8	2.8	2.4	0.2	69.8	0.5
	夫 婦 と 子 の み	354	▲22.9	▲6.5	2.3	2.5	0.3	70.3	0.6
	親と自分(夫婦)のみ	70	21.4	14.3	5.7	1.4	-	67.1	-
	3 世 代 世 帯	227	35.2	8.4	2.2	2.2	-	59.0	0.9
	自 分 ( 夫 婦 ) と 子 と 孫	195	36.9	9.2	1.5	1.0	-	57.4	1.0
	親と自分(夫婦)と子	32	25.0	3.1	6.3	9.4	-	68.8	-
そ の 他	299	30.8	▲5.7	1.7	1.7	0.7	62.5	3.0	

本人年収別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は100～500万円未満層で高くなっている。他は、特に差がみられない。〈図表Ⅲ－35〉

〈図表Ⅲ－35〉 判断能力低下時への準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	望家を族に伝えて分いの希	意ノ思ト等での	加認入知症保への	任意後見制度	信託制度	し特に準備は	無回答
全 体		2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
本人年収別	収 入 は な い	292	26.0	7.5	2.4	0.7	0.7	65.1	1.7
	100 万 円 未 満	435	30.6	10.1	1.8	1.6	-	62.5	0.9
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	32.1	11.5	2.5	2.1	0.7	60.1	▲0.7
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	29.6	8.1	3.7	2.2	0.7	63.0	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	24.0	12.0	4.0	-	-	64.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	23.1	15.4	-	-	-	69.2	-

世帯保有金融資産別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は、100万円未満層で低く、100～1,000万円未満層で高くなっている。

「ノート等での意思表示」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。

「特に準備はしていない」は100万円未満層で70.3%と高くなっている。〈図表Ⅲ-36〉

〈図表Ⅲ-36〉 判断能力低下時への準備の有無 [世帯保有金融資産別]

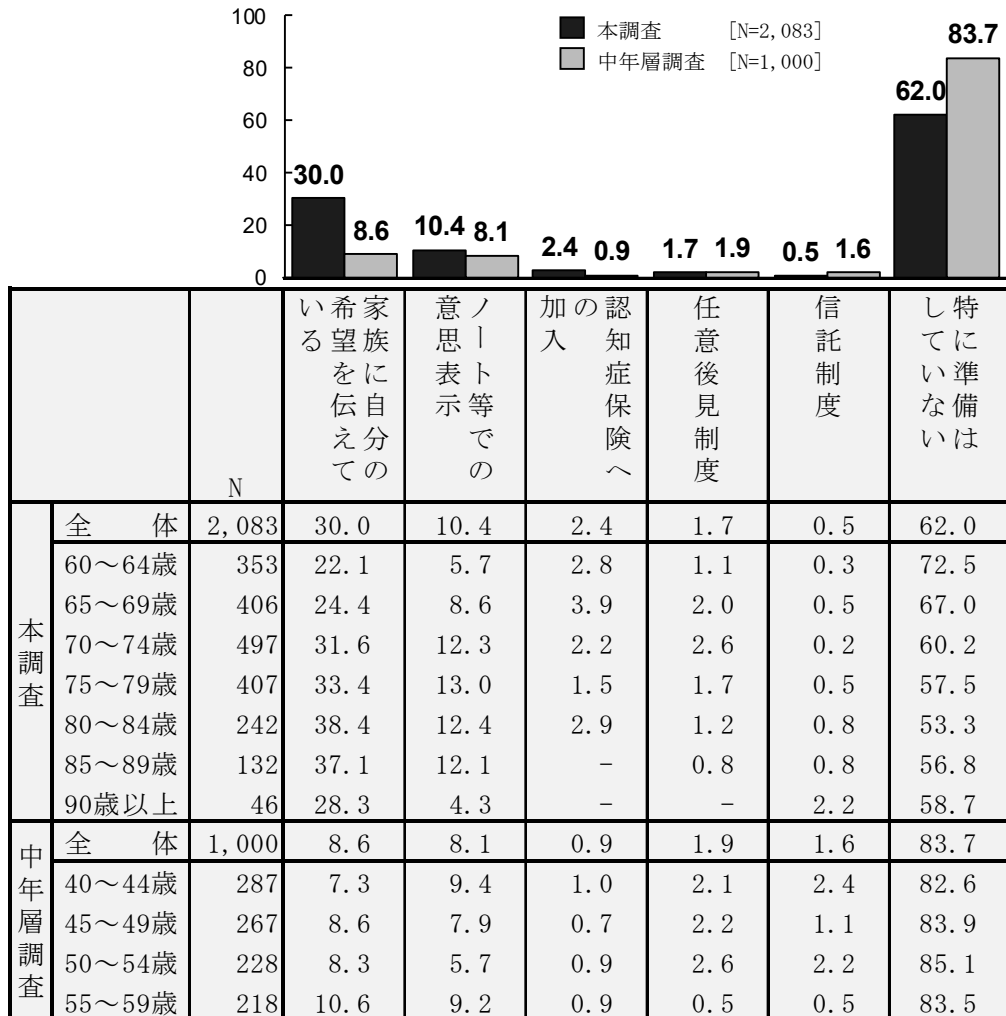
(複数回答、単位：%)

		N	望家を族に伝えて いる希	意ノ 思ー 表ト 示等 での	加認 入知 症保 険へ の	任 意 後 見 制 度	信 託 制 度	し特 てに い準 な備 いは	無 回 答
全 体		2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
金融 資産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	▲24.1	7.9	3.3	0.7	0.7	○70.3	0.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	○33.8	11.0	2.5	1.9	0.4	▲58.4	▲0.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	27.5	11.4	2.6	2.9	-	63.0	0.4
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	34.8	11.6	2.0	0.7	0.7	60.3	0.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	33.6	○20.2	5.0	2.5	1.7	▲52.9	0.8
	1 億 円 以 上	23	○52.2	4.3	-	-	-	47.8	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を上回っているのは「家族に自分の希望を伝えている」で、21.4 ポイント差となっている。一方、「特に準備はしていない」は中年層が 83.7%と、60 歳代以上の 62.0%を 21.7 ポイント上回っている。〈図表Ⅲ－37〉

〈図表Ⅲ－37〉 判断能力低下時への準備の有無 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



### ③判断能力低下時の相談相手

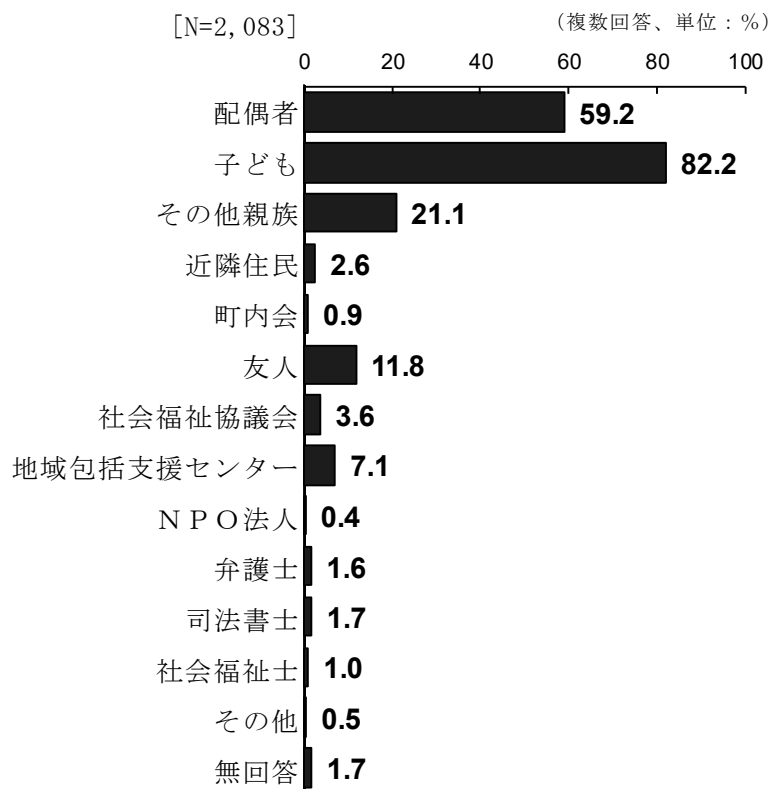
Q37 将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がありますか。  
この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

1	配偶者	8	地域包括支援センター
2	子ども	9	NPO 法人
3	その他親族	10	弁護士
4	近隣住民	11	司法書士
5	町内会	12	社会福祉士
6	友人	13	その他
7	社会福祉協議会		

判断能力低下時の相談相手については、「子ども」が 82.2%を占め、最も多くなっている。次いで、「配偶者」が 59.2%、「その他親族」が 21.1%、「友人」が 11.8%と続いている。

組織、専門家の相談相手としては、「地域包括支援センター」が 7.1%、「社会福祉協議会」が 3.6%となっている。(図表Ⅲ-38)

〈図表Ⅲ-38〉 判断能力低下時の相談相手



性別にみると、「配偶者」「司法書士」は女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「子ども」「友人」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「配偶者」「友人」は高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

「その他親族」は60～64歳で、「社会福祉協議会」は75～79歳で、それぞれ高くなっている。「子ども」は60～64歳で低くなっている。〈図表Ⅲ－39〉

〈図表Ⅲ－39〉 判断能力低下時の相談相手〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
性別	男 性	964	70.6	▲77.2	19.5	2.4	1.1	▲8.7	3.1
	女 性	1,119	▲49.3	86.6	22.5	2.8	0.7	14.4	4.1
本人年齢別	60～64歳	353	71.4	▲77.6	26.1	1.7	0.3	18.4	2.0
	65～69歳	406	70.0	79.6	24.6	1.7	0.5	15.3	3.7
	70～74歳	497	63.4	84.7	19.7	2.4	1.0	11.9	3.8
	75～79歳	407	▲53.6	81.6	18.7	3.9	1.5	▲8.1	5.9
	80～84歳	242	▲45.9	84.7	17.4	3.3	0.8	▲7.9	2.5
	85～89歳	132	▲33.3	87.9	19.7	3.8	1.5	▲4.5	3.8
	90歳以上	46	▲19.6	91.3	13.0	-	2.2	▲2.2	-
		N	セ地域 ン包 タ括   支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
性別	男 性	964	6.0	0.5	2.1	2.4	1.1	0.2	2.3
	女 性	1,119	8.0	0.3	1.3	▲1.2	0.8	0.8	1.3
本人年齢別	60～64歳	353	4.8	0.3	2.3	1.7	1.1	0.6	1.7
	65～69歳	406	6.2	0.5	2.0	1.5	0.7	0.2	1.5
	70～74歳	497	7.6	0.4	1.6	1.8	1.0	0.4	▲0.6
	75～79歳	407	7.6	0.7	1.2	2.0	1.0	0.7	2.7
	80～84歳	242	9.1	-	1.7	2.1	1.7	0.8	1.7
	85～89歳	132	9.8	-	0.8	1.5	-	0.8	2.3
	90歳以上	46	4.3	-	-	-	-	-	6.5



未既婚別にみると、「配偶者」「子ども」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。

「その他親族」「友人」「弁護士」は未婚層で、「町内会」は既婚（離別・死別）で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ－40）

〈図表Ⅲ－40〉 判断能力低下時の相談相手〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
未既婚別	未 婚	88	-	▲ 2.3	○ 72.7	2.3	1.1	○ 25.0	3.4
	既婚（配偶者あり）	1,471	○ 83.8	○ 86.4	▲ 17.3	2.5	▲ 0.6	11.1	3.3
	既婚（離別・死別）	506	-	84.8	23.5	3.0	○ 1.8	11.1	4.7
		N	セ地域 ンタ   包 括 支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
未既婚別	未 婚	88	11.4	-	○ 4.5	2.3	1.1	1.1	○ 6.8
	既婚（配偶者あり）	1,471	6.7	0.4	1.7	1.6	1.1	▲ 0.2	▲ 0.8
	既婚（離別・死別）	506	7.5	0.4	1.0	2.2	0.6	○ 1.4	○ 2.8

家族形態別にみると、「配偶者」は夫婦のみ、夫婦と子のみ、親と自分（夫婦）と子の各層で高くなっている。

「子ども」は夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の各層で高くなっている。

「その他親族」は単身、親と自分（夫婦）のみの各層で高く、夫婦のみ、夫婦と子のみの各層で低くなっている。

「友人」は単身、親と自分（夫婦）と子の各層で高くなっている。〈図表Ⅲ－41〉

〈図表Ⅲ－41〉 判断能力低下時の相談相手〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
家族形態別	単身	333	▲ 3.9	▲ 66.4	○ 32.4	3.6	○ 2.1	○ 15.6	5.1
	夫婦のみ	773	○ 84.5	84.0	▲ 16.9	3.1	0.5	10.5	3.4
	2世代世帯	424	○ 84.0	○ 87.3	20.3	1.4	0.5	11.6	3.3
	夫婦と子のみ	354	○ 86.7	○ 91.5	▲ 17.2	1.7	0.6	11.0	3.7
	親と自分(夫婦)のみ	70	70.0	▲ 65.7	○ 35.7	-	-	14.3	1.4
	3世代世帯	227	53.3	○ 92.5	18.1	3.1	○ 2.2	14.1	4.0
	自分(夫婦)と子と孫	195	▲ 49.2	○ 92.8	15.9	2.6	2.1	12.3	4.1
	親と自分(夫婦)と子	32	○ 78.1	90.6	31.3	6.3	3.1	○ 25.0	3.1
その他	299	▲ 29.1	82.3	23.7	1.7	0.3	8.7	3.3	
		N	地域包括支援センター	NPO法人	弁護士	司法書士	社会福祉士	その他	無回答
全体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
家族形態別	単身	333	9.3	0.9	2.1	2.4	0.9	○ 1.5	○ 4.2
	夫婦のみ	773	7.0	0.3	1.6	▲ 0.9	0.8	0.1	▲ 0.8
	2世代世帯	424	8.3	0.5	2.6	○ 3.1	0.9	0.5	0.7
	夫婦と子のみ	354	8.2	0.6	2.5	2.8	0.8	0.3	0.8
	親と自分(夫婦)のみ	70	8.6	-	2.9	4.3	1.4	1.4	-
	3世代世帯	227	4.0	0.4	0.4	0.9	0.9	0.4	0.9
	自分(夫婦)と子と孫	195	4.6	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	1.0
	親と自分(夫婦)と子	32	-	-	-	-	-	-	-
その他	299	5.4	-	0.7	1.7	1.7	0.3	2.7	

本人年収別にみると、「配偶者」は500～2,000万円未満の各層で、「友人」、「地域包括支援センター」は100万円未満層で、それぞれ高くなっている。

「弁護士」は2,000万円以上の高収入層で38.5%と高くなっている。〈図表Ⅲ-42〉

〈図表Ⅲ-42〉 判断能力低下時の相談相手〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	54.1	86.3	19.2	2.4	1.4	12.3	4.1
	100 万 円 未 満	435	61.6	83.0	20.5	3.9	1.4	15.4	5.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	57.7	81.6	22.8	2.4	0.8	10.9	3.5
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	69.6	80.7	21.5	1.5	-	9.6	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	92.0	80.0	24.0	-	-	12.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	53.8	84.6	7.7	-	-	15.4	-
		N	セ 地 域 包 括 支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	5.1	0.3	1.0	0.7	0.7	1.0	2.4
	100 万 円 未 満	435	9.7	0.2	0.7	1.6	2.1	0.7	1.6
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	7.0	0.4	▲ 1.0	1.9	0.7	0.4	▲ 0.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	5.2	-	4.4	3.0	0.7	-	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	-	4.0	4.0	4.0	-	4.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	-	-	38.5	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「配偶者」は高資産層ほど高くなっている。  
「子ども」は100万円未満層で低く、2,000～5,000万円未満層で高くなっている。  
「その他親族」「友人」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。  
「弁護士」は1億円以上の高資産層で8.7%と高くなっている。〈図表Ⅲ－43〉

〈図表Ⅲ－43〉 判断能力低下時の相談相手〔世帯保有金融資産別〕

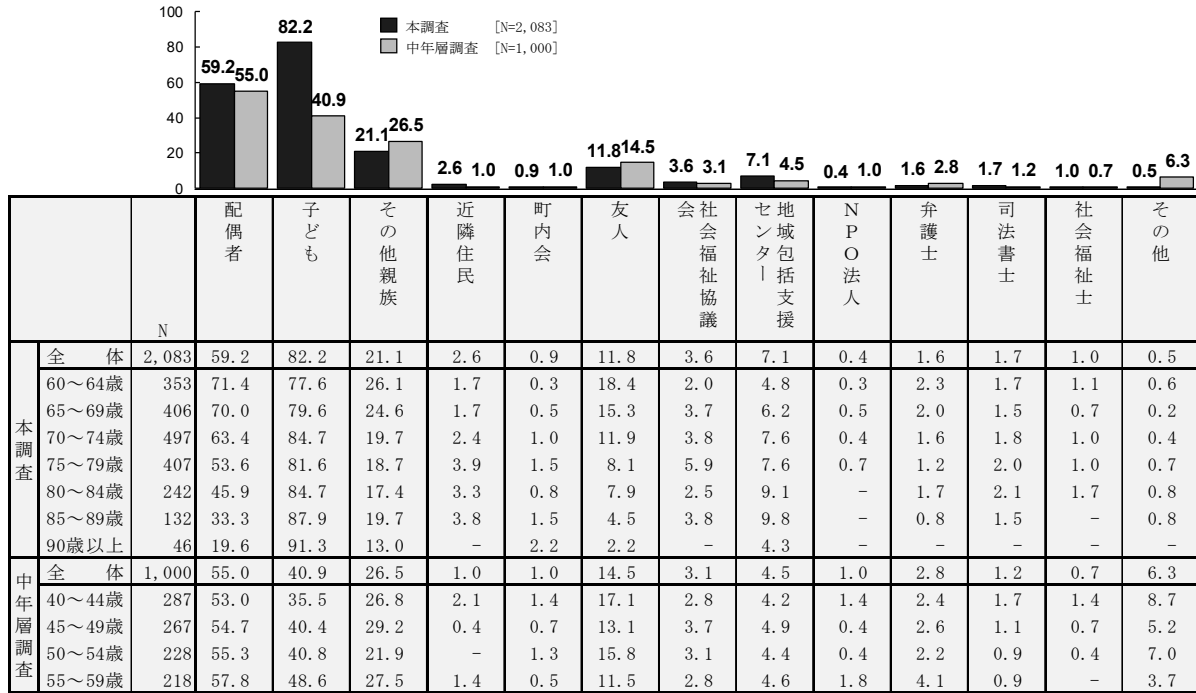
(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
金融資産別	100万円未満	303	▲50.8	▲77.2	18.8	3.3	1.7	9.9	5.0
	100～1,000万円未満	527	56.5	83.7	21.4	4.2	1.1	12.3	3.4
	1,000～2,000万円未満	273	69.6	81.3	23.1	1.5	0.4	15.0	4.4
	2,000～5,000万円未満	302	74.2	86.8	24.5	2.0	0.3	10.9	4.3
	5,000万円～1億円未満	119	72.3	85.7	28.6	2.5	0.8	18.5	2.5
	1億円以上	23	82.6	91.3	17.4	-	-	13.0	-
		N	セ地域 ン タ   包 括 支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
金融資産別	100万円未満	303	8.3	0.3	0.7	1.3	1.7	1.0	1.3
	100～1,000万円未満	527	6.8	0.8	1.1	2.5	0.6	-	▲0.6
	1,000～2,000万円未満	273	6.6	0.7	2.2	2.2	1.1	0.4	-
	2,000～5,000万円未満	302	8.9	0.3	2.6	1.3	1.0	0.3	0.7
	5,000万円～1億円未満	119	6.7	-	3.4	1.7	1.7	0.8	2.5
	1億円以上	23	-	-	8.7	-	-	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「子ども」で、41.3ポイント差となっている。一方、「その他の親族」は中年層の方が5.4ポイント上回っている。それ以外については、両者に大きな差はみられない。(図表Ⅲ-44)

〈図表Ⅲ-44〉 判断能力低下時の相談相手 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



#### ④判断能力低下時の金融資産の取扱い方

Q38	将来、判断能力が不十分になったときに株や証券などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。(○は1つだけ)
1	そのまま保持する
2	適切に運用する
3	売却して現金資産にする
4	保持していない
5	回答したくない
6	その他

判断能力低下時の金融資産の取扱い方については、(金融資産を)「保持していない」が43.3%を占めている。また、「回答したくない」も10.5%となっている。

具体的な取扱い方としては、「適切に運用する」が19.8%と最も多く、「売却して現金資産にする」が12.0%、「そのまま保持する」が8.5%と続いている。(図表Ⅲ-45)

〈図表Ⅲ-45〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方

(単位：%)

■そのまま保持する ■適切に運用する ■売却して現金資産にする □保持していない □回答したくない □その他 □無回答

本調査 [N=2,083]	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	4.5
---------------	-----	------	------	------	------	-----

性別にみると、「回答したくない」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「そのまま保持する」は90歳以上で高くなっている。

「適切に運用する」は高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-46)

〈図表Ⅲ-46〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	そのまま保持する	適切に運用する	売却して現金資産にする	保持していない	回答したくない	その他	無回答
全体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
性別	男性	964	7.9	21.5	12.9	44.5	▲8.8	1.3	▲3.1
	女性	1,119	9.1	18.4	11.2	42.2	○11.9	1.6	○5.6
本人年齢別	60～64歳	353	7.4	○24.1	14.4	39.4	11.6	1.4	▲1.7
	65～69歳	406	9.1	20.4	13.3	44.1	8.6	1.5	3.0
	70～74歳	497	7.2	20.1	12.1	45.5	10.5	1.2	3.4
	75～79歳	407	7.9	17.9	10.3	44.5	11.8	2.0	5.7
	80～84歳	242	9.1	17.4	12.0	45.9	9.1	0.4	6.2
	85～89歳	132	11.4	18.9	7.6	39.4	9.8	3.0	○9.8
	90歳以上	46	○21.7	10.9	6.5	▲28.3	15.2	2.2	○15.2

未既婚別にみると、「適切に運用する」は既婚（配偶者あり）層で高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。〈図表Ⅲ－47〉

〈図表Ⅲ－47〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔未既婚別〕

(単位：%)

		N	るその のまま 保持す	適切 に運 用す る	現 金 資 産 に す る	保 持 し て い な い	回 答 し た く な い	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
未 既 婚 別	未 婚	88	4.5	22.7	9.1	40.9	13.6	3.4	5.7
	既婚（配偶者あり）	1,471	8.4	21.6	12.8	42.4	10.2	1.3	▲ 3.3
	既婚（離別・死別）	506	9.9	▲14.6	10.3	46.4	10.7	1.8	6.3

家族形態別にみると、「適切に運用する」は夫婦と子のみ層で高くなっている。

「売却して現金資産にする」は夫婦のみ層で高く、自分（夫婦）と子と孫の層で低くなっている。

「保持していない」は3世代世帯で高くなっている。〈図表Ⅲ－48〉

〈図表Ⅲ－48〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	るその のまま 保持す	適切 に運 用す る	現 金 資 産 に す る	保 持 し て い な い	回 答 し た く な い	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
家 族 形 態 別	単 身	333	8.4	18.0	12.0	41.1	11.4	1.8	7.2
	夫 婦 の み	773	8.8	20.6	13.8	42.4	9.8	▲ 0.6	3.9
	2 世 代 世 帯	424	8.0	23.6	14.2	41.7	9.2	1.7	▲ 1.7
	夫 婦 と 子 の み	354	8.5	24.3	13.8	41.5	8.5	1.7	▲ 1.7
	親と自分（夫婦）のみ	70	5.7	20.0	15.7	42.9	12.9	1.4	1.4
	3 世 代 世 帯	227	7.0	16.7	▲ 6.6	50.7	11.9	2.2	4.8
	自 分 （ 夫 婦 ） と 子 と 孫	195	7.2	17.9	▲ 4.6	49.2	13.3	2.1	5.6
	親と自分（夫婦）と子	32	6.3	9.4	18.8	59.4	3.1	3.1	-
そ の 他	299	10.0	17.4	▲ 7.7	45.5	11.4	2.3	5.7	

本人年収別にみると、「適切に運用する」は100万円未満層以下の低収入層で低く、500～1,000万円未満層で高くなっている。「売却して現金資産にする」は高収入層ほど高くなる傾向がみられる。

「保持していない」は500～1,000万円未満層より上の高収入層で低くなっている。〈図表Ⅲ－49〉

〈図表Ⅲ－49〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	その のまま 保持す る	適 切 に 運 用 す る	現 売 却 し て 現 金 資 産 に す る	保 持 し て い な い	回 答 し た く な い	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	▲ 5.5	▲14.0	▲ 7.5	47.9	○17.1	2.1	5.8
	100 万 円 未 満	435	9.7	▲15.4	11.5	46.7	10.3	2.1	4.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	9.0	21.2	12.9	45.1	▲ 7.8	▲ 0.9	▲ 3.2
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	8.9	○34.8	16.3	▲24.4	11.9	1.5	2.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	12.0	24.0	○32.0	▲20.0	4.0	4.0	4.0
	2,000 万 円 以 上	13	7.7	○61.5	-	▲ 7.7	15.4	-	7.7

世帯保有金融資産別にみると、「そのまま保持する」「適切に運用する」「売却して現金資産にする」の具体的な取扱い方は、いずれも高資産層になるほど高くなっている傾向がみられる。

「保持していない」は低資産層ほど高くなっている。〈図表Ⅲ－50〉

〈図表Ⅲ－50〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	その のまま 保持す る	適 切 に 運 用 す る	現 売 却 し て 現 金 資 産 に す る	保 持 し て い な い	回 答 し た く な い	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	▲ 5.6	▲11.2	▲ 6.6	○57.4	13.2	1.7	4.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	8.0	16.9	10.6	○51.6	9.1	1.5	▲ 2.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	9.9	21.2	○16.8	41.4	9.5	-	▲ 1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	○11.6	○34.1	○18.9	▲26.5	▲ 5.3	1.3	2.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	12.6	○34.5	○23.5	▲21.8	▲ 5.0	0.8	1.7
	1 億 円 以 上	23	○21.7	○47.8	13.0	▲ 4.3	4.3	○8.7	-

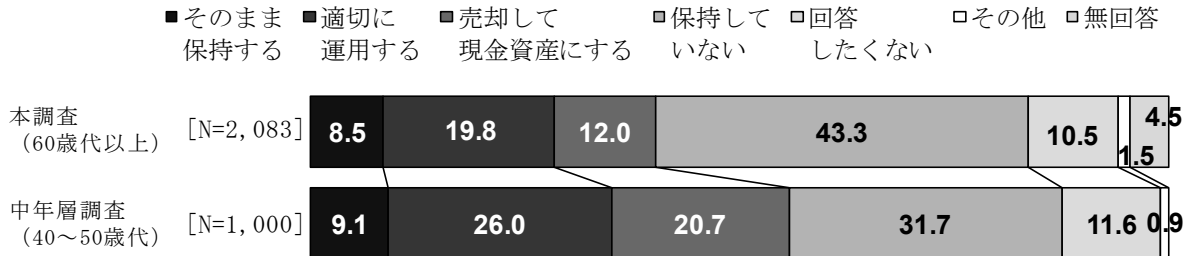


調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「保持していない」は60歳代以上（43.3%）が中年層（31.7%）を11.6ポイント上回っている。

具体的な取扱い方としては、「適切に運用する」「売却して現金資産にする」がいずれも中年層をそれぞれ6.2ポイント、8.7ポイントずつ下回っている。（図表Ⅲ－51）

〈図表Ⅲ－51〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	そのまま保持	適切に運用する	売却して現金資産にする	保持していない	回答したくない	その他
本調査	全体	2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5
	60～64歳	353	7.4	24.1	14.4	39.4	11.6	1.4
	65～69歳	406	9.1	20.4	13.3	44.1	8.6	1.5
	70～74歳	497	7.2	20.1	12.1	45.5	10.5	1.2
	75～79歳	407	7.9	17.9	10.3	44.5	11.8	2.0
	80～84歳	242	9.1	17.4	12.0	45.9	9.1	0.4
	85～89歳	132	11.4	18.9	7.6	39.4	9.8	3.0
	90歳以上	46	21.7	10.9	6.5	28.3	15.2	2.2
中年層調査	全体	1,000	9.1	26.0	20.7	31.7	11.6	0.9
	40～44歳	287	11.2	25.8	20.9	33.1	8.7	0.3
	45～49歳	267	8.6	24.3	19.9	33.7	12.7	0.7
	50～54歳	228	7.0	27.6	18.0	31.1	14.9	1.3
	55～59歳	218	9.2	26.6	24.3	28.0	10.6	1.4